

みずほCustomer Desk Report 2025/04/22 号(As of 2025/04/21)

【昨日の市況概要】

				公示仲値	141.24
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	141.55	1.1451	162.15	1.3316	0.6393
SYD-NY High	142.15	1.1575	162.63	1.3421	0.6434
SYD-NY Low	140.48	1.1393	161.79	1.3266	0.6374
NY 5:00 PM	140.88	1.1512	162.23	1.3379	0.6417
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	38,170.41	▲ 971.82	日本2年債	0.6400%	0.0100%
NASDAQ	15,870.90	▲ 415.55	日本10年債	1.2800%	0.0000%
S&P	5,158.20	▲ 124.50	米国2年債	3.7676%	▲0.0317%
日経平均	34,279.92	▲ 450.36	米国5年債	3.9793%	0.0385%
TOPIX	2,528.93	▲ 30.22	米国10年債	4.4155%	0.0838%
シカゴ日経先物	34,255.00	▲ 315.00	独10年債	-	-
ロンドンFT	-	-	英10年債	-	-
DAX	-	-	豪10年債	-	-
ハンセン指数	-	-	USDJPY 1M Vol	13.94%	1.32%
上海総合	3,291.43	14.70	USDJPY 3M Vol	12.67%	0.55%
NY金	3,425.30	96.90	USDJPY 6M Vol	11.93%	0.45%
WTI	62.41	▲ 1.60	USDJPY 1M 25RR	▲2.75%	Yen Call Over
CRB指数	293.41	▲ 2.97	EURJPY 3M Vol	11.21%	0.40%
ドルインデックス	98.28	▲ 1.10	EURJPY 6M Vol	11.10%	0.36%

東京	先週末142.22レベルで終えたドル円は、オープン前からドル売りが進み、141.55レベルで東京時間オープン。トランプ米大統領がFRBパウエル議長の解任を検討しているとの週末ヘッドラインによる米ドルの信認低下や、今後の日米協議で為替が材料になる可能性が不安視され、ドル売りが加速。昨年9月以来の140円台まで下落し、海外勢が不在の中、一時140.48を付けた。結局140.79レベルで東京時間を終えた。
ロンドン	休場
ニューヨーク	NY市場のドル円は、トランプ米大統領がパウエル議長の解任を検討しているとの報道や、米株安を背景に140.70付近を挟んだ上値重い推移が続く。午後は特段材料が見当たらない中、140.56まで値を下げる。その後は売り一巡となり、140.88レベルでクロス。一方、NY市場のユーロドルは欧州がイースター休暇で休場の中、1.1482まで値を下げる場面もあったが、その後は下げ渋り、1.15台を回復する。午後は1.1530付近までじりじり戻し、その後1.1512レベルでクロス。

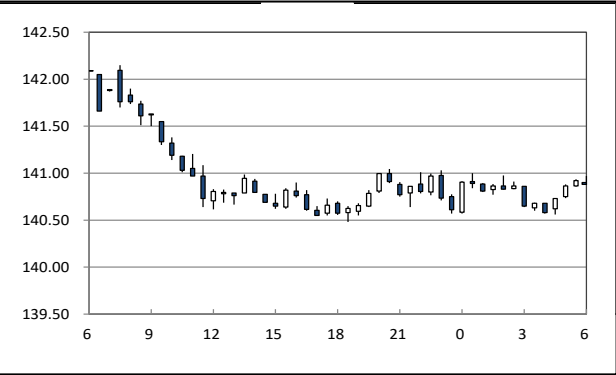
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
4月21日	23:00	米 景気先行指数(3月)	3月 -0.7%	-0.5%

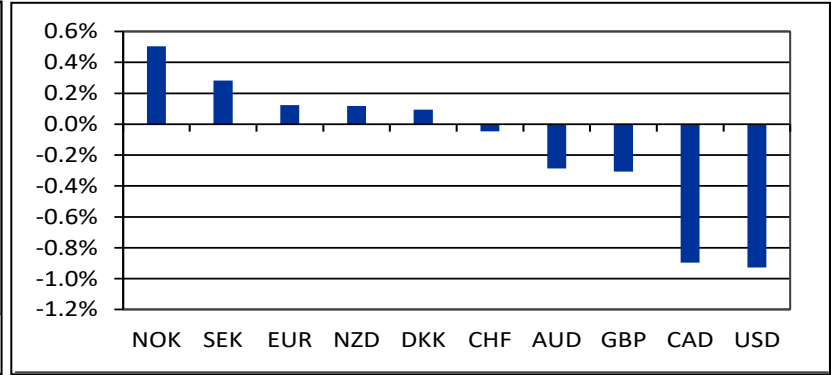
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
4月22日	22:00	米 ジェファーソンFRB副議長 講演	-	-
4月22日	22:30	米 ハーカー・フィラデルフィア連銀総裁 講演	-	-
4月22日	23:00	欧 消費者信頼感・速報	4月 -15.1	-14.5
4月23日	02:40	米 カシュカリ・ミネアポリス連銀総裁 講演	-	-
4月23日	03:30	米 バーキン・リッチモンド連銀総裁 講演	-	-
4月23日	05:00	欧 クノット・オランダ中銀総裁 講演	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	140.00-141.50	1.1430-1.1580	161.00-163.00

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円はパウエル議長解任を巡る報道に下落する展開。東京時間朝方、NY時間の二度に渡り米トランプ大統領からパウエル議長への批判、解任を示唆する発言が飛び出すと、FRBの独立性が脅かされることへの懸念からドル売りが進行、先週つけた年初来の安値を更新する140円台前半まで下落した。株価の低迷もあり、パウエル議長への利下げ要求、小売り大手幹部との会談は、米トランプ大統領なりに米経済の先行きを憂慮した姿勢にも思える。とすると、今週控える加藤財務相とベッセント米財務長官との会談での姿勢も緩和し、ドル円も上昇する可能性もあるだろう。ただし、今週は閣僚級協議を控えることもあり、本日は明確な方向感はないと予想する。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。